

思索の丘

学校教育目標

「心豊かで 主体的に学び たくましく生きる子どもを 育てよう」

あけまして
おめでとうございます



2024 年(令和 6 年) 1 月 15 日発行 No.11
福山市立広瀬学園小・中学校 校長 谷本 昌宏

3 学期を迎えるにあたり

あけましておめでとうございます。皆さんはどのようなお正月を過ごしましたか？校長先生は、お正月の朝、お雑煮(ぞうじ)でお餅(もち)を2つ食べました。大田教頭先生も2つ食べたそうです。しかし、角田教頭先生はなんと！7つも食べたそうです。そして面白いことに、校長先生と教頭先生二人は丸いお餅を食べたのですが、望月先生に聞いてみると、望月先生は四角いお餅を食べたそうです。

どうやら、お雑煮にはいろいろな種類があるようです。そこで、お雑煮の話をしてみたいと思います。皆さんが食べたお雑煮にはどんなお餅が入っていましたか？今から、お雑煮について、いくつか質問します。お正月にお雑煮を食べた人は思い出しながら、お雑煮を食べていない人は、「食べるならどっちがいいかな？」と考えながら、①か②を選んでください。

第1問。お雑煮のお餅は、①丸いお餅？ ②四角いお餅？

第2問。そのお餅は、①焼いていない？ ②焼いている？

第3問。そのお餅は、①白みその味噌汁(みそしる)に入っている？ ②すまし汁に入っている？

全部①、つまり、焼いていない丸餅が白みその味噌汁に入っているお雑煮は、関西で多く食べられているそうです。逆に、全部②、焼いた四角いお餅がおすまし汁に入っているお雑煮は、関東で多く食べられているそうです。お雑煮には、関西風や関東風があるんですね。

では、ここで問題です。関西のお雑煮で、丸いお餅が使われているのは、なぜでしょうか？ ①かわいいから ②丸だとお椀にたくさん入るから ③丸いと言えば円。円と言えば、円満という言葉につながるから。円満というのは、平和で満ち足りているという意味です。 答えは③になります。

では、関東のお雑煮では、お味噌を使わないのは、なぜでしょうか？ ①お味噌は高いから。 ②「味噌を付ける」のが嫌だから。「味噌を付ける」というのは、「失敗する、自分の名誉に傷をつける」という意味です。 ③味噌を使わないとすまし汁になってしまいます。すましと言えば、すまし顔で、気取っている顔のことを言います。それが武士の世界では、カッコいいことだったので、味噌を使わない。さあ、何番でしょう！ 正解は②です。武士社会だった江戸では、験担ぎ(げんかつぎ)で「失敗することや自分の名誉に傷を付けること」を恐れたと言われています。

このように、お雑煮は、西と東ではずいぶんと違います。面白いので校長先生は、日本全国のお餅を調べてみました。するといろいろな発見があったので、紹介します。

小豆汁(あずきじる)の中にお餅が入っている鳥取県の「小豆雑煮」

白みそにあん入りの丸餅が入っている香川県の「あん餅雑煮」

甘いクルミのたれにお餅を付けて食べる岩手県の「くるみ雑煮」

きな粉が入った別皿を用意して、お餅をきな粉に付けながら食べる奈良県の「きな粉雑煮」

「福をかき取る、かき寄せる」と縁起物とされている広島県安芸地方や江田島市の「牡蠣(かき)雑煮」

お隣岡山県では、ブリと姥貝(もかい)という貝が入った「ブリ雑煮」があるそうです。



お雑煮から、その土地の文化や暮らしが見えてきます。ちなみに、校長先生の家のお雑煮は、だし汁(すまし汁)に丸餅が入ったお雑煮です。関西風と関東風のミックスといったところでしょうか。皆さんも、ちょっと気になったことがあったら調べてみると面白いですよ。世の中には、知らないことがたくさんあります。



2024 年(令和 6 年)「たつ年」スタート

今年の干支(えと)は「たつ」。漢字では「竜」のほかに十二支では「辰」と書きます。ここで、「たつ」にまつわる漢字を紹介します。

「竜」は、平素は水中にひそむ想像上の動物です。でも時が至れば、水を離れ、竜として天に昇ることができるため、古代中国では霊的な力を持つ神聖な動物と考えられてきました。その聖獣の印として、頭に「辛」の形のかんむり飾りがついており、それをつけたへびの形をした獣(けもの)が竜ということです。

「竜」の関係で一番なじみ深い漢字は「九」です。「九」は身を折り曲げた竜の形だそうです。その「九」に「穴(あな)」を加えたのが「究(きゅう)」で、穴の中に竜がきゅうくつそうな形で入り込んで「きわめつくす」という意味の字になっています。

「辰」は大きな蛤(はまぐり)が足を出して動いている姿です。そのため「辰」を含む字には「動く」意味がある場合が多いです。「地震」の「震」は雷がとどろき震えること。「妊娠」の「娠」は母親のおなかの中で子どもが動くこと。また手で揺り動かすことを「振」と言います。

今年一年が皆様にとって 上昇に向かい 濃い年になりますことをお祈りいたします。



二つの素敵な贈り物

12 月 26 日、広瀬学園に二つの素敵な贈り物が届きました。一つはグローブ。もう一つはサッカーボールです。

グローブは昨年末かなり話題になったので、知っている人も多いと思いますが、アメリカメジャーリーグで活躍中の大谷翔平選手からの贈り物です。右利き用が2つ、左利き用が1つ、計3つ送られてきました。グローブには、「このグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。それは、野球こそが、私が充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツだからです。野球しようぜ」という大谷選手からのメッセージが添えられていました。

サッカーボールは小中それぞれ3球ずつ、計6球いただきました。これは株式会社コーコス信岡が福山シティ FC が行っている SDGs プロジェクトに賛同され、福山市内全小中学校にサッカーボール250球を寄付され、そのうちの6球を広瀬学園がいただいたものです。福山シティ FC は、「可能性は無限大」を合言葉に、皆で手を取りあって地域が抱える課題を解決に導く「社会貢献プロジェクト」を行っており、福山市を中心とした備後地域にアクションを続けることで、子どもたちの可能性を広げ、より良い未来の実現を目指した取組をされています。

これら二つの贈り物を紹介させていただくとともに、寄付していただいた方々の思いを胸に、大切に使い続けていきたいと思います。

